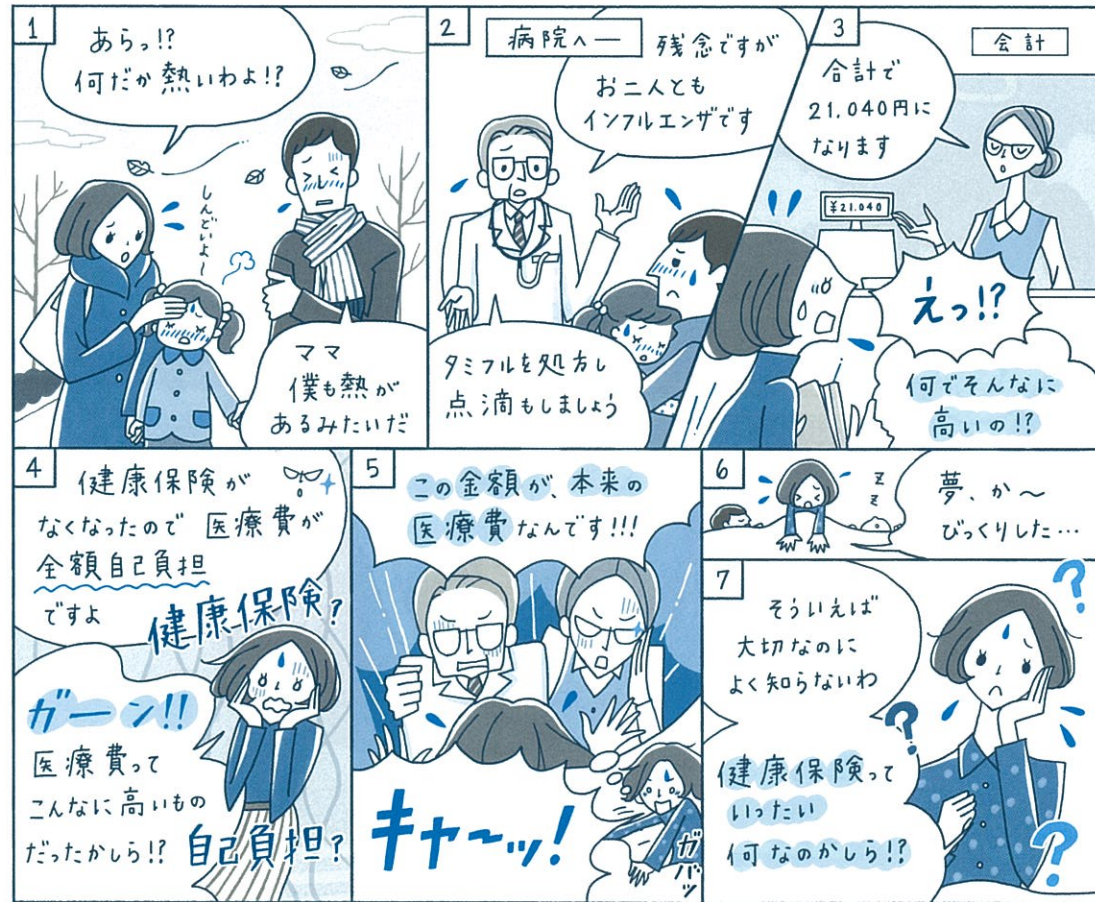


健康保険は わたしたちの宝です！ 健保のみらいを みんなで守りましょう！



少ない負担で、誰でも医師にかかれるのが当たり前だと思ってたら大間違いだったのね。

日本では誰もが少ない負担で医師にかかれる「国民皆保険制度」で、これは世界に誇れる制度です。みなさんが加入している健保組合が健康保険制度を支えているのです。



健康保険って何？ 誰もが安心して暮らせるしくみ「健康保険」

自分や家族が病気、けが、出産、あるいは不幸にも死亡したとき、思わぬ出費が必要となります。今、みなさんが医師にかかったときに支払っている医療費は総額の1～3割にすぎません。もし、全額自己負担であったらどうでしょう。不測の出費にたちまち生活は不安定になるかもしれません。

健康保険は、このような場合に備えて、日頃から加入者が保険料を出し合い、それを財源に必要なときに必要な人が医療や給付金が受けられるしくみです。これは、世界共通ではなく、日本固有の世界に誇れる私たちの宝ともいえる制度です。

健保組合って何してるの？ 生活をサポート「保険給付」&健康をサポート「保健事業」

健保組合は自主的に健康保険制度を運営し、みなさんの生活と健康をサポートしています。

みなさんが病気やけがをしたとき、窓口で1～3割負担した残りの医療費を健保組合が支払い、給付金を支給したりしています。長期入院などで医療費が高額になったときも、自己負担が一定額を超えた分を健保組合が負担しているため、安心して治療を受けることができます。

また、定期的に健康をチェックすることで病気を予防・早期発見できる「定期健康診断」や「特定健診・特定保健指導」といった健診事業をはじめとする「保健事業」も積極的に行っています。他の保険者に比べると、特定健診の受診率も飛びぬけて高く、みなさんの健康をサポートしているのです。



■平成24年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)

	健保組合(単一)	協会けんぽ	市町村国保	全体
特定健康診査実施率	72.60%	33.90%	33.70%	46.20%
特定保健指導の終了者の割合	22.50%	12.80%	19.90%	16.40%



みらいをみすえた新しい取り組み「データヘルス計画」

平成27年度から政府主導による健康長寿をめざした「データヘルス計画」が始まります。

この計画は、保健事業で蓄積された健診やレセプトのデータを分析し、リスクに応じて効果的・効率的な保健事業を実施していくものです。健保組合には、積極的に推進している特定健診の豊富なデータがあり、この計画の中心的な役割を担います。また、この計画には企業との協働(コラボ)で実効性を高めることが求められています。従業員やその家族の健康度が高まれば、企業活力も高まります。結果、医療費や保険料が抑えられる効果も期待できることから「みらい」をみすえた新しい取り組みといえます。

